

**令和7年度 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟
要望活動 議事録**

1 日 時 令和7年8月27日（水） 11:20～12:10

2 場 所 横須賀市役所1号館3階会議室A

3 要 望 者 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟

会 長 横須賀市長 上地 克明
副会長 鎌倉市長 松尾 崇
副会長 逗子市長 桐ヶ谷 覚
副会長 三浦市長 出口 嘉一
副会長 葉山町長 山梨 崇仁

4 対 応 者

国土交通省 関東地方整備局横浜国道事務所長	西村 徹 様
神奈川県 横須賀三浦地域県政総合センター所長	大場 勇人 様
神奈川県 県土整備局道路部長	中丸 博史 様
神奈川県 横須賀土木事務所長	五十嵐 敬 様
神奈川県 県土整備局道路部道路企画課長	石川 謙作 様
神奈川県 県土整備局道路部道路管理課長	福原 浩之 様
神奈川県 県土整備局道路部道路整備課長	神永 裕一 様
神奈川県道路公社 理事長	佐川 範久 様
東日本高速道路株式会社関東支社 建設事業部長	宮野 敏雄 様
東日本高速道路株式会社関東支社 京浜管理事務所長	飯干 貴彰 様
東日本高速道路株式会社関東支社 横浜工事事務所長	松本 育之 様

5 事 務 局

横須賀市 建設部長	藤田 順一
横須賀市 建設部企画担当課長	金子 真二

【横須賀市企画担当課長】要望活動の開始前でございますけれども、一つ確認させていただきます。大変恐縮ですが、報道機関の方がいらっしゃいますので、今年度の要望活動につきましては、活動の更なる充実および円滑な会議運営のため、既にお知らせいたしましたように、取材は要望書の手交と、写真撮影を含む冒頭部分のみでお願いいたします。

これから要望活動が始まりました後、事務局から冒頭部分の終了をご案内いたします。大変恐縮ですが、報道機関の方はご退室をお願いいたします。

なお、今年度は要望活動の議事概要を後日、本期成同盟事務局であります、横須賀市のホームページへ掲載いたします。何卒ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。以上でございます。

6 議事

【横須賀市建設部長】 それでは、ただいまから、三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟の要望活動を始めさせていただきます。

私は本日司会進行を務めさせていただきます、本期成同盟幹事長の横須賀市建設部長の藤田でございます。よろしくお願いいたします。

はじめに、本日ご参加いただいている皆様を、改めましてご紹介いたします。まず、本期成同盟の役員です。会長の上地克明 横須賀市長です。

【横須賀市長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の松尾崇 鎌倉市長です。

【鎌倉市長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の桐ヶ谷覚 逗子市長です。

【逗子市長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の出口嘉一 三浦市長です。

【三浦市長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の山梨崇仁 葉山町長です。

【葉山町長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 続きまして、要望先の皆様です。前列の方のみご紹介させていただきます。

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長 西村徹 様。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長 大場勇人 様。

【神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 神奈川県県土整備局道路部長 中丸博史 様。

【神奈川県県土整備局道路部長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 神奈川県道路公社理事長 佐川範久 様。

【神奈川県道路公社理事長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部長 宮野敏雄 様。

【東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部長】 よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】 以上でございます。それでは、要望活動に移ります。まず要望書の手交並びに集合写真の撮影を行わせていただきます。事務局がご案内いたしますので、前の風神雷神が描かれている壁側にお集まりいただきたいと思います。では、お願いします。

【横須賀市建設部長】 本日は代表して、上地横須賀市長から国土交通省の西村様にお渡しする形で集合写真とさせていただきます。それではよろしくお願いいたします。

***** 写真撮影 *****

【横須賀市建設部長】 大変恐縮でございますが、報道機関の方におかれましては、ここでご退室をお願いいたします。

それでは、お手元の要望書をご覧ください。

まず、本期成同盟役員から、皆様に要望させていただきます。その後、要望先の皆様から関連する事項について、ご所見をいただきます。なお、時間が限られておりますので、要望書前文のご説明は割愛させていただき、要望書見開き右側に記載しております、『要望事項』の6項目のうち、各市町がそれぞれの立場から補足説明させていただきます。これから先は着座のままでお願いいたします。

それでは、上地 横須賀市長からお願いいたします。

【横須賀市長】 横須賀市長の上地でございます。

着座にて失礼いたします。

先程、神奈川県横須賀土木の五十嵐所長から三浦半島地域における神奈川県の道路整備についてご講演いただき、ありがとうございました。併せまして、総会にご列席いただきました、国土交通省、神奈川県道路公社、東日本高速道路株式会社の皆様におかれましても、日頃から幹線道路整備の促進に多大なるお力添えを賜りまして、改めまして厚くお礼を申し上げます。

総会でも触れましたが、昨年元旦に発生した能登半島地震は、半島地域に共通する課題であり、道路ネットワークの脆弱性がもたらす様々な問題を、私たちに再認識させてくれるものであります。

このような背景もありますので、要望事項は例年に引き続きのものが中心となりますが、その実現に向けての私の思いはこれまで以上に熱気を帯びていることを申し述べさせていただきたいと思

います。

それでは、横須賀市からは、要望事項1と4と5について、述べさせていただきます。

まず、要望事項1です。先程もお話ししましたが、高速横浜環状南線、横浜湘南道路は、県内東西方向の交通渋滞の緩和、三浦半島地域における企業立地の促進、新たな観光需要の創出など、確実に地域経済に好循環をもたらし、地元商工業を元気にするとともに、災害時の代替路の観点からも非常に重要な道路であります。

令和3年度に就航した東京九州フェリーは、右肩上がりで利用が増加していきまして、横須賀港は本格的な物流拠点になりつつあります。今後もドライバー不足や環境負荷軽減などの課題を解消するために、モーダルシフトの広がりによる物流環境の向上から、横須賀港の利用増加が見込まれています。

また、このような情勢を背景に横須賀港では、新たな埠頭の整備も実は検討を進めているところでございます。そのため、横須賀港へのアクセス道路でもあり、三浦半島の背骨でもある横浜横須賀道路に、圏央道が接続することは、半島に新たな玄関口ができることであり、物流と人流とを飛躍的に増加させるものと大いに期待しております。三浦半島地域の多くの人や事業者が、一刻も早い接続を、首を長くして待ち望んでおります。様々な制約もあることとは十分に承知しておりますが、ぜひとも速やかな早期の整備を、よろしくお願い申し上げます。

次に、要望事項4です。国道357号は令和3年度から予算をつけていただき、交差点改良工事、水路の付替え工事のほか、地質調査を行うなど、特段のご配慮をいただいていることをまずお礼申し上げます。併せて、追浜駅前交通結節点整備事業においても、この6月には事業計画を改定し、事業のイメージが具体化され、期待が非常に高まっていて、横須賀の北の拠点である追浜地区の、ひいては、横須賀市全体の経済の活性化に欠かせない社会基盤となるものと考えております。ご承知のとおり、日産の問題もありますが、ぜひここを中心として新たなまちづくりを発展していきたいと思っておりますので、お力添えを頂きたいと思っております。つきましては、国道357号の都市計画決定区間の早期整備、及び南下延伸区間の早期実現に向けて、進めていただくようお願い申し上げます。

最後に要望事項5です。現在、横浜横須賀道路の、横須賀パーキングエリア周辺におけるスマートインターチェンジ整備については、横浜横須賀道路へのアクセスが強化され、災害時における道路ネットワークの形成にも寄与するものと大きな期待を持っております。関係者の皆様のご支援により、東日本高速道路株式会社とも共同で事業推進をさせていただいております。こちらも早期の整備に向けて、引き続きご支援を賜りたく、お願いを申し上げる次第であります。

それぞれのプロジェクトの一刻も早い整備に向け、当然ながら地元自治体として知恵を出し、汗をかき、全力で取り組んでまいりる所存です。今後とも、関係機関の皆様には、より一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。私からは以上です。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、松尾 鎌倉市長お願いします。

【鎌倉市長】鎌倉市長の松尾です。よろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

鎌倉市としましては、1番の、高速横浜環状南線、横浜湘南道路の早期整備について特にお願いを申し上げたいと思います。

観光施設が集積する鎌倉地域内におきましては、観光を目的とした車両の他、地域内に目的地を持たない通過交通による慢性的な交通渋滞が発生しており、国土交通省が平成30年に実施した交通調査によりますと、鎌倉地域に流入する車両のうち、約3割は通過交通との結果が示されています。

市内の交通量につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行前に近い水準に戻りつつあり、依然として交通渋滞が発生している状況です。

一方、地震被害や近年激甚化する異常気象による被害に対する支援物資等の供給道路としての役割など、当該両路線が整備されることによるストック効果の発現が期待をされるところです。

以上のことから、冒頭をお願いを申し上げましたとおり、1番の高速横浜環状南線、横浜湘南道路の早期整備につきまして、ご尽力賜りますようお願い申し上げます、鎌倉市の要望とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、桐ヶ谷 逗子市長お願いします。

【逗子市長】本日はよろしくお願いいたします。本当に日頃から大変ご尽力、ご協力いただき、心から御礼申し上げる次第です。

逗子市からは、要望事項としましては、2と3になります。毎年引き続き、お願いをさせていただきたいと思います。

要望事項の2の三浦半島中央道路の整備については、先程、五十嵐所長の方からも詳細にご説明をいただきました。これまで動かなかった理由は逗子側にあると私は考えておりまして、聞くところによると、反対の連絡が頻繁にあり、そのために停滞してきたとも聞いております。大変ご迷惑をおかけしたと反省しております。現在、逗子市におきましては、その状況も緩和しておりますので、この機会に一気に進めるべきと私も考えております。葉山町とも連携をしながら、事業の主体は県になりますけれども、我々も一緒に進めていきたいと考えております。所長のお話にもありましたとおり、市内の渋滞、特に出口のところが慢性的に渋滞しており、逗子警察署入口交差点、東逗子駅入口交差点の2箇所の、大変慢性的な渋滞をどう解消できるのか、初瀬における三浦縦貫道路の整備を見ても、大きく変わるだろうと期待しているところです。

次に、要望事項の3につきましては、ネットワーク型 ETC を設置していただきありがとうございます。私も通りましたが、カードで通過できませんでしたので、現金で支払いをしました。何とか

カード会社の拡大を図っていただき、利便性の向上、利用料金の引き下げ等につなげていただきたいと考えております。逗子におきましては、かつて早期無料化について、地元から要望があり、市議会からも要望がありました。平成 28 年に、神奈川県、神奈川県道路公社に、逗葉新道通行料金の無料化を求める意見書というものを提出していただいているところであります。理由は、無料化であるならば、逗葉新道を通過するであろう車両がどうしても市内を迂回すると、それがまた渋滞の引き起こす原因にもなっていると思われるため、この要望を継続して出させていただいておりますが、何よりも ETC の利便性が上がることであれば、これもまた渋滞緩和に貢献するものと考えているところであります。ご対応いただいていることは十分承知しておりますが、重ねての要望とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、出口 三浦市長お願いします。

【三浦市長】皆様、日頃より三浦市の道路行政に多大なご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。着座にて失礼いたします。

三浦市からは、要望事項 2 と 3 について、改めて説明させていただきます。

まず要望事項 2 でございます。三浦縦貫道路Ⅱ期区間については、林インターチェンジから高円坊までの北側区間が、令和 2 年 8 月 10 日に開通いたしまして、現在、未整備区間は約 2.5km となりました。都市計画道路西海岸線については、これまでに、小網代湾の自然に配慮するための環境調査や橋梁形式の検討を行っていただきまして、今年 5 月には橋梁のデザインコンセプトをとりまとめ、今年度より用地取得に着手する予定と伺っております。大変素敵な橋梁デザインを工夫していただいて感謝申し上げます。

三浦縦貫道路と西海岸線は、2 路線全線がつながることで、首都圏各都市と本市との交通アクセスを飛躍的に向上させ、地域経済の活性化や地震等災害時における緊急輸送道路の確保の観点からも絶大な効果をもたらすことから、1 日も早い 2 路線全体の完成供用を望まれております。県の事業実施に向けまして、三浦市といたしましても、地元調整など連携に努めてまいりますので、今後とも引き続きご尽力をお願いいたします。

続きまして、要望事項 3 でございます。三浦縦貫道路等の通行料金につきましては、共用延長約 5km に対して、普通車が 310 円でございます。県内の有料道路と比べ、割高感がございます。つきましては、利用者の視点に立った料金体系の見直しが必要だと考えておりますので、ぜひ、ご検討をお願いいたします。

また、逗子市長からも要望がございましたけど、本格導入されたネットワーク型 ETC について、利用可能カードが限られている状況でございますので、更なる利便性の向上の実施をお願いしたいと考えております。

終わりにですね、広域幹線道路ネットワークの整備につきましては、長年にわたり、行政・議会・経済界が一致団結して要望活動を続けさせていただいております。これまでも関係機関の皆様に多大なるご支援ご協力を賜っております。今後ともより一層のお力添えをお願いいたしまして私の要望を終わらせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、山梨 葉山町長お願いします。

【葉山町長】葉山町の山梨でございます。いつも大変お世話になっており、心から感謝申し上げます。地域の声をお伝えするという意味でもこの時間を頂きましたのでどうぞよろしくお願いいたします。

葉山町からは、2番と3番と6番について主にお伝えさせていただきます。

先程、桐ケ谷市長と出口市長からお話をいただいた内容と重複しますが、2番、3番は連動しているところを、葉山町側の視点でお伝えしたいと思います。

例えば、県道311号では、日中を中心に、昨今のシェアリングエコノミーの推進も相まって、「わ」ナンバーを中心とした車両の数は明らかに増えていると感じます。夏場は県道311号から逗葉新道まで渋滞しているというケースが発生するほど車両の数が増えています。今はスマートフォンなどで、抜け道の案内が速やかにできることから、渋滞を回避するため、あるいは逗葉新道の通行を避けるため、逗子市側へ町道を抜けていく車両も多くなっています。例えば、逗子葉山高校があるイトピアの抜け道、または葉山町内で最大の住宅団地である葉桜地区を抜けていく車両が増加しております。我々としては、事故が起きないかという緊張感とともに、維持管理を行う市道・町道においては、メンテナンスの頻度が上がっていることも、改めてお伝えします。その上で、何よりも事故が起きないこと、また、快適な交通状況を作るという意味でも、速やかな北側区間の開通ということが求められていると思います。都市計画決定について多少変更があったため、9月に説明会を行っていただけること、また、確実に事業が進捗していることは十分承知をしておりますが、平日の夕方は東逗子側、土日が葉山町側が混んでいるという状態からも、北側区間開通による効果というのは絶大だと考えられます。ぜひ迅速なご対応をいただくよう、よろしくお願いいたします。

また、逗葉新道のネットワーク型ETCについても申し上げます。私はネットワーク型ETCで利用できるETCカードを新たに作成し、快適に利用させていただいております。しかしながら、利用できるカードが限られていることを知らない方からは、自分のカードでは利用できないのに前の車では利用できたという事象により、過剰な表現ではありますが差別ではないかという声が届いています。ぜひ、より多くの種類のETCカードが使えるよう、ご対応いただきたいと思います。

また、私たちの要望の趣旨はあくまでも無料化でございますので、三浦半島中央道路北側区間の開通とともに、設置されたネットワーク型ETCを撤去していただき、無料化が実現することを楽

しみにしております。

最後に、6番の項目について申し上げます。安全・快適な道路整備につきましては、先程、県議会議員、国会議員の皆様から多くのお話がありました。その中で話のありました無電柱化については、私たちも強く要望をしております。令和8年度に神奈川県では無電柱化計画が改定されることですが、多くの路線が無電柱化を図ることにより、景観のみならず、防災の観点で、電柱が阻害することのないよう、速やかな避難経路を確保できるよう安全安心の道路整備の一環として進めていただきたいと思います。葉山町からは以上でございます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。以上が本期成同盟からの要望となります。

続きまして、ただいまの要望について、国土交通省、神奈川県、神奈川県道路公社、東日本高速道路株式会社の皆様から、ご所見をお伺いしたいと存じます。はじめに、国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長 西村様、お願いいたします。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】西村です。まず日頃より皆様には国土交通行政、とりわけ道路行政にご理解ご支援を賜りまして、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。着座にて失礼いたします。

先ほど、総会で地域の皆様から圏央道をはじめとする事業に対してですね、熱い期待が込められているということをお聞かせいただきまして誠にありがとうございます。私はこの7月にまいりまして、道路整備がここまで進んできたというのは、皆様のこのような熱意が着実に形に表れているものと思っております。引き続き、取り組んでまいりたいと思っております。

さて、圏央道の整備についてでございます。本当に皆様のご指摘の通りですね広域的な観点からですね、地域の活性化または、防災物流の観点からも大きな効果があるため我々も進めております。その中でも、県内全体の効果もありますけれども三浦半島地域でも、その移動の効率化によって、広域的な観光の活性化という観点でとても期待がされているということで非常に感じている次第でございます。ぜひこの道路についても、皆様と連携して事業を進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

また、進捗状況でございますけれども、NEXCO 東日本と共同で事業を進めておりますけれども、横浜国道事務所では、一番西側の横浜湘南道路を主に担当しており、こちらはシールドマシン1号機が事業の計画トンネルの半分を掘り終え、一番西側の藤沢インターチェンジのちょっと手前で、折り返し作業をしているところでございます。こちら、これから下り線を掘っていくのですが、掘進の開始に向けて、現在準備を進めております。ぜひ、施工している企業と力を合わせて、一日も早い開通に向けて、なお、安全第一で工事を進めてまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

また、国道 357 号でございますが、こちら東京湾岸部のいろいろな物流、また防災の観点の大きな役割を担っていると思っております。事業中の八景島から夏島区間については、調査設計を進めるとともに、夏島地区で支障となる水路の施設工事の実施しております。こちらでもですね、引き続き調査設計と移設工事を推進していく所存でございます。

また、その先の夏島から南側については、まだ事業が具体化していない状況でございます。こちらでも、周辺の交通状況、整備状況を勘案しながら、皆様と連携して進めていければ思っておりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

横須賀横浜道路の横須賀スマートインターチェンジにつきましても、国土交通省としても地区協議会について、しっかり連携してまいります。

最後になりますけれども、地域の皆様の思いを受け止めて、一つ一つ着実に事業を進めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、神奈川県県土整備局道路部長 中丸様、お願いいたします。

【神奈川県県土整備局道路部長】神奈川県の中丸でございます。よろしくお願いいたします。

皆様方におかれましては、日ごろから本県の道路行政に、多大なご理解とご協力、また、ご尽力もたくさんいただいていることにつきまして、本日、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

私からは、県管理道路についてご回答をそれぞれさせていただきたいと思えます。着座にて説明させていただきます。

まず、三浦半島中央道路についてでございます。三浦半島中央道路は北側区間と南側区間の2つの区間ということで取り組んでございます。このうち北側区間の約1kmのトンネル区間では、先程お話にもありましたとおり、かねてから事業に反対する声があったのですが、令和3年に葉山町さんのご協力をいただきまして、オープンハウス形式の相談会を実施させていただきました。そして、地域の方々のご意向を確認したところ、事業に賛成する声もありましたが、一方で、地盤沈下や騒音・振動、こういった生活環境の悪化を心配される声も寄せられたところでございます。まずは、地域の方々のご心配を払拭することが必要だということで、県としても、トンネルの構造が生活環境に与える影響、こういったものを調査させていただき、予測評価を取りまとめ、昨年10月に逗子市と葉山町のご協力をいただき、地元説明会を開催させていただきました。この北側区間は平成5年に都市計画決定されておりますが、今後、事業を進めていくためには、現在の、事業計画に合わせた都市計画変更がどうしても必要になってしまうということで、今年の9月に都市計画説明会を開催し、その後、都市計画変更の手続きを進めてまいりたいと思っております。引き続きのご協力

いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

また、先程、お話にありました逗子警察署入口交差点の交通渋滞につきましては、この北側区間の事業に合わせて、交差点改良に取り組んでまいりたいと思っておりますのでご協力お願いします。そして、東逗子駅入口交差点、こちらにつきましては、信号の現示が一つの原因になっているのではないかとと思われるのですけれども、引き続き、どのようなことができるのか、検討を一緒にさせていただければと思いますので、ご理解のほどお願いします。

続きまして、三浦半島中央道路の南側区間になります 5 km ですが、このうち、湘南国際村から横須賀市道坂本芦名線までの約 2.6 km 区間につきましては、これまでに橋梁やトンネルの設計を行ってまいりました。ただ、この区間では、市道坂本芦名線との交差部が、県のかながわ環境整備センターの真上に整備する必要があるということになっております。この環境整備センターの処分の埋め立ての終了をですね、見通していかないと道路整備がなかなかできないだろうっていうことがありますので、この時期をですねしっかり見極めた上でやっていく必要があると思っております。

そして、三浦縦貫道路Ⅱ期でございます。こちらについては、西海岸線と一体となって、まさに三浦市の南北軸を形成する大変重要な道路だと認識しております。このうち北側区間の約 1.9 km につきましては、令和 3 年度までにすべての事業を完了させていただきました。開通した区間に続く南側区間については、ご案内のとおり起伏に富んだ高低差の大きい地形を通過する計画となります。このため、大規模な橋梁区間を設けざるを得ませんが、そういった中でも、事業費ですとか、工事期間、こちらを縮減させていきたいというところで、橋梁区間ができる限り短くなるような道路計画の精査を行ってまいりました。さらには、三浦市道との交差形状につきましても、調整させていただきましたので、今年度は、これらの結果を踏まえながら周辺の住環境にもできる限り配慮した設計を進めていくとともに、また一部では地質調査の方にも入っていきたいと思っておりますので何卒ご協力をお願いいたします。

そして、西海岸線につきましては、延長 2.5 km のバイパス道路を整備するということですが、先程、五十嵐所長のご説明にもありましたとおり橋梁部については、豊かな自然が残る小網代湾を大規模な橋梁で跨ぐことから、環境や景観への配慮もさることながら、地域の方々への理解を得るこれが重要と思っております。

そこで、これまで大気や動植物などの、周辺の環境調査を実施するとともに専門家のご意見を伺いながら、環境や景観に与える影響を考慮し、橋梁の設計をとりまとめ、今年の 5 月に県のホームページで公表したところです。今後は、漁業やヨットなど橋梁建設により直接影響を受けるだろうと思われる関係者の方々との調整を進めてまいりたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。また、昨年度から橋梁部も含めた事業区間全体の用地測量も始めさせていただいております。順調にいけば、今年度から用地着手ができるんじゃないかと思っておりますのでご理解いただければと思っております。

そして最後に財源確保と予算枠拡大のお話も頂戴いたしました。先程、副知事の話もありましたように、道路は繋がってこそ最大限の効果が発揮されるものであるというふうに思っております。引き続き、繋がるべき道路を繋げていくこういった考えで進めていきたいと思っております。

また、道路整備を進めることで、活力と魅力ある神奈川の実現が図られ、そして県民の安全安心の確保ができると考えております。今年の6月には国で国土強靱化実施計画が閣議決定されました。これまで上回る事業規模が位置付けられたところでございます。県としても、引き続き、皆様と共に、道路整備の効果や必要性をアピールし、公共事業の予算確保に向けて、国へ強く要望してまいりたいと考えております。

まあ、今年の5月14日に開催しました、「命と暮らしを守る道づくり全国大会」については、横須賀の上市市長、にもご出席いただきまして感謝申し上げます。引き続き、県と市町村皆様が連携して、強く地元の声を訴えかけていく。こういった形で、予算確保していきたいと思っておりますので、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。私からは以上でございます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、神奈川県道路公社理事長 佐川様、お願いいたします。

【神奈川県道路公社理事長】神奈川県道路公社の佐川でございます。よろしくお願いいたします。まずは、日頃から私共の道路公社の2つの有料道路、10を超える有料駐車場を運営しております。これらの事業に対しまして、日頃よりご理解とご協力に対して深く感謝を申し上げたいと思います。

当公社への要望事項は3ということになりますけれども、これにつきましてご説明させていただきます。

まず、一点目のネットワーク型 ETC の利便性向上についてでございます。ネットワーク型 ETC につきましては、当公社が全国に先駆けて、有料道路での実用化に向け、社会実験を繰り返し取り組んできたもので、ようやく今年1月に「ETC GO」として三浦縦貫に、3月には逗葉新道に導入したものであります。ご要望頂いている利便性向上のためには、使えるカードを増やすということ、これが何より重要だということは認識してございます。順次拡大に努めているところです。私は4月に着任しましたが、それ以降に限っても、逗子市長さんからのご指摘もいただき、ある銀行系カードを何とか使えないかということで、金融機関に働きかけもやらせていただきました。そこで見てきたことは、結局はカード会社の経営判断、採算が取れるのかっていうこと。そうした状況で、働きかけをしても、もどかしい思いを感じているところですが、確実に地域の声は届けられたと思っているところです。こういうことを積み重ねて、しっりやっていきたいと思っております。それでも拡大はしてきております。ETC カードは、10社14ブランドと言われてますけど、1月スタート時には、2社2ブランドからスタートしているんですが、現在は4社5ブランドまで広がりました。

この夏にもさらに増える見込みもありますので、着実に取り組んでいきたいと思っております。ネットワーク型ETC技術を推進する国、キャッシュレス化を進める県、本サービスを管理する首都高速株、運用会社、また、市場を広げるという意味では、我々地方道路公社の中でも仲間を増やしていくということも重要だと思っておりますので、そういう営業活動を組み合わせていきます。こうした関係機関と連携して、利便性の向上をしっかりと取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

次に、二点目、三浦縦貫道路の料金引下げについてでございます。三浦縦貫道路含む有料道路は、基本的に、道路の建設費用、維持管理費用を料金収入で賄うという仕組みでございます。計画交通量や料金は、国との調整、国の許可を得て、決めてる状況でございます。三浦縦貫道路につきましては、交通量が当初の計画に達しておらず、残念ながら、収支は厳しい状況でございます。その中でなかなか通行料金の引き下げを行うことは難しい状況にあるということをご理解いただければというふうに思います。一方で、令和2年のⅡ期北側区間の開通以降は、先程、ご説明にもありましたけれども、三浦縦貫道路の交通量は着実に増加してきています。当公社としては今後とも、地元各市町や関係機関の皆様、関係機関の皆様と連携しまして三浦半島地域の魅力の発信に取組み、三浦縦貫道路の利用促進につなげていきたいというふうに考えてございます。

最後、三点目、逗葉新道の無料化でございます。これは従前の答えと同じになってしまいますけれども、県は「今後、三浦半島中央道路の北側区間が開通すると、逗葉新道の役割も変わってくると想定されるため、そうした時期を目途に無料化について公社や地元市町との調整に取り組んでいきます。」という方針がございます。公社としてもその時期がきましたら、様々な観点から検討し、県と調整させていただきます。公社からの説明は以上でございます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、東日本高速道路株式会社関東支社 建設事業部長 宮野様、お願いいたします。

【東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部長】東日本高速道路の宮野でございます。まずは、日頃より高速道路事業に多大なるご支援、ご協力を賜りますこと、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。着座にて説明いたします。

弊社が国土交通省と共同で進めております圏央道事業、主に横浜環状南線ならびに横須賀スマートインターチェンジ事業に関して、進捗状況をご説明いたします。

先ほど、上地市長ならびに松尾市長より、圏央道及び横浜横須賀道路への接続の必要性について強いご期待を頂戴し、その重要性を改めて認識しているところでございます。

事業の進捗状況でございますが、横浜環状南線につきましては、現在、工事を全面的に展開しております。横浜横須賀道路の釜利谷ジャンクションにおける橋梁工事およびランプトンネル工事は

すでに完了しております。その西側に位置する庄戸トンネルにつきましては、上り線側の掘削が完了し、下り線側についても鋭意施工を進めております。さらに西側では、シールド工法による2本のトンネルの掘削工事を実施しておりますが、桂台地区ではすでに掘削を終えてマシンを解体中であり、公田・笠間地区についても掘削完了まであとわずかという状況でございます。

また、その2本のトンネルの間に位置する公田インターチェンジにつきましては、開削工事を全面展開しており、工事はさらに加速していく見込みでございます。

続いて、横須賀スマートインターチェンジ事業につきましては、これから用地買収の段階と考えており、横須賀市と緊密に連携しつつ事業を進めてまいります。

いずれの事業におきましても、技術的に高い難易度を有するとともに、地域住民の皆様への丁寧な説明が求められる事業でございます。そのため、安全を最優先に、着実に工事を推進してまいります。皆様のご協力なくして事業を進めることはできませんので、今後ともご支援ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【横須賀市建設部長】皆様ありがとうございました。他に何か関連する事項でも構いませんのでご意見はございませんでしょうか。

【葉山町長】はい。NEXCOさんにですね、この前の7月30日の津波警報の関係で、あの日、逗子インターチェンジの上下線（出口）、そして、浦賀インターチェンジの下り線（出口）を閉鎖されたんですけれども、海拔の状況からすると、閉鎖をする場所だったのかなという疑問と、あの日、一般道がかなりの渋滞をして、山あいには逃げる車がでていました。また、帰宅困難者も発生したことから、今後警報等が発令された時の閉鎖、開放の基準について、現場に合わせた形で、少し柔軟に変えていただけるとありがたいなと。実際の帰宅困難で車で帰る方が下道を走らせなきゃいけないということで躊躇したってケースがありましたので、ぜひ、今後のご検討いただければと思います。

【横須賀市建設部長】ご意見ありがとうございます。それでは本日は、本期成同盟への要望活動にご参加いただきまして誠にありがとうございました。今後三浦半島地域の広域幹線道路の整備促進につきまして、更なるご支援をくださいますようお願い申し上げます。以上をもちまして、要望活動を終了いたします。ありがとうございました。